



第1159号  
2010年3月28日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇3月の代祷・信施奉献先  
▽教区青年活動のため▽いのちの電話の働きのため▽浦安伝道所・浦安宣教のため▽キッドスクール(幼稚園)のため  
◆とこしえの平安

3月16日 折居 三雄(78) 聖十字  
【大斎節公開プログラム】7  
4月1日 聖木曜日 全生園15時 真光/神田キリスト/聖十字/聖マーガレット/清瀬聖母/聖マルコ19時  
2日 聖金曜日 三光6時 半・12時 清瀬聖母/真光10時半 全生園15時 聖マルチン19時  
3日 聖土曜日 小笠原聖ジョージ14時 全生園15時 神田キリスト16時 清瀬聖母17時 聖テモテ/聖マーガレット18時

聖バルナバ18時半 目白/真光 / 聖マルチン/聖マルコ19時 三光20時

▽聖パウロ教会パイプオルガンコンサート 4月10日(土)15時 演奏||フレディ・アイシエ ルベルガー。チケット(全席自由) 前売り2千5百円、当日3千円。学生2千5百円(要学生

今週・来週の予定  
3月28日~4月10日

- 28(日) 復活前主日 合同堅信式 (主教座) 城南G教会協議会 下町G教会協議会
- 4月
- 1(木) 聖木曜日礼拝 (主教座)
- 2(金) 受苦日礼拝 (同)
- 3(土) 聖土曜日礼拝 (同)
- 4(日) 復活日
- 7(水) 人権委員会 協働委員会 エルサレム会
- 9(金) 広報委員会

証)、高校生以下千5百円。予約・照会||同教会TEL03(3710)6032。  
▽こどもにゆーすいーすター号 教区・日曜学校スタッフ連絡会から発行、配布されている。  
▽浦安伝道所春のバザー 4月10日(土) 10時半~14時半。同所。照会TEL||同所047(354)2516。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

聖職者は「間」で生きる存在です。神と世界の間立つて、人と人の間で働きます。決して神と世界の間から離れられないし、人と人の間で神を表しながら生きねばなりません。どういふ場合であつてもその間から逃げられませぬ。不幸なのか幸福なのかそれが彼らの運命なのです。そういつた意味で彼らは「人間」です。

《み手のなかで》

聖職者という「人間」

司祭 成 成鍾 (ソン・ソンジョン)

ようやく立つことができるように、聖職者は今日の十字架を立たせるための繋ぎ目として生きるのです。しかし十字架の両軸はそのまま繋がるものではありません。横と縦の軸が合う部分を探り抜くか釘を打ち込まない以上、十字架は繋がりません。繋ぎ目になることは、まさに自分の心身をくり抜いて、胸に釘を打ち込むことです。そうする時にだけ、今日の十字架を世の中に立たせることが出来ます。

ところが間で生きること、は恐ろしいことです。しかも神と世界の間立つて、神を人々に伝えることは畏れ多く、時には痛々しいことでもあります。それは単純な伝達者として間にいるだけでなく、両方を繋ぐ繋ぎ目として生きる存在だからです。まるで十字架の横と縦の軸が繋がれて

命の聖職者のために祈っていただけられないでしょうか。彼らが「間」で生き続けられますように。(聖公会神学院)

## 3月の教区会報告

第111(定期)教区会は、22日(月・祝)主教座聖堂で廣田勝一管理主教司式による聖餐式に続いて10時、聖アンデレホールで教役者議員47名中41名、信徒代議員71名中69名、番外議員17名の出席で、諸報告と議案審議が開始され、常置委員会に始まり教区内諸活動09年度報告が承認された。また諸聖徒幼稚園から園舎の老朽化を原因とする継続困難から、2015年度をもって休園することが報告された。

議案は09年度教区会計決算承認と東京教区主教選挙を覚えて祈る、2案件を審議し可決。監事指名も行われた。

午後からは並行して常置委員選挙が行われ、計8回の投票の

結果、笹森田鶴司祭・下条裕章司祭・前田良彦司祭(補欠・大畑喜道司祭)が聖職常置委員に、松田正人・黒澤圭子代議員・松平謙次さん(補欠・藤田太寅代議員)が信徒常置委員に選出され、ほぼ予定の時刻に終了した。

諸報告冒頭と会議終了時に、廣田管理主教に対する感謝が、それぞれ大畑常置委員長と河野裕道司祭によつて表明された。「教区会後に開かれた常置委員会で、委員長に笹森田鶴司祭を互選した。」

◇教区・聖なる3日間の礼拝  
主教座聖堂

4月1日(聖木曜日) 11時 聖油聖別の聖餐式・司祭按手の約束の更新

2日(聖金曜日・受苦日) 正午 受苦日礼拝 司式・石坂みゑ子司祭/説教・杉山修一司祭  
3日(聖土曜日) 18時 復活前宵祭・復活のろうそくの礼拝

▽外濠教会グループ聖木曜日の礼拝 4月1日19時、東京聖テモテ教会。聖餐制定記念(聖餐式・洗足式) 司式 外濠教会グループ聖職団。説教 成成鍾(ソン・ソンジョン) 司祭。

▽月島聖公会感謝礼拝 50年間親しんだ現在の建物を取り壊し、新たに教会と園舎を建築するにあたり4月4日(日・復活日)14時、同所で感謝礼拝と茶話会を行う。教会・園舎見学は4月末まで随時歓迎。照会 同教会 Ⅷ03(3533) 6021。

【クローズアップ】44  
NSKKプレ宣教協議会  
の目指すもの

2008年5月に開かれた日本聖公会第57(定期)総会にて、2010年にプレ宣教協議会を、2012年に宣教協議会を開催することが決議されました。

プレ宣教協議会開催の目的は、「宣教協議会の準備として、日本聖公会の現状を分析し、管区及び各教区・教会が直面している課題を分かち合い、今日、聖公会に求められている宣教ビジョンの作成を検討する」と掲げられています。日本聖公会では、多くの教区・教会が、聖職・信徒の減少や高齢化、教会建物の老朽化や財政の逼迫といった課題に直面してい

ます。それによって存続が危ぶまれている教会もあります。他方、日本社会においては、経済不況による貧困、失業、家庭崩壊など、様々な歪みが生じています。多くの人が人生に希望を見出せず、人や社会への信頼を失い、心を病んでいる現実もあります。

このような時代と社会において、今、私たちの教会に与えられた宣教(ミッション)とは何なのかということ、あらためて検討し、共有する必要が生じてきているように思います。

1995年に清里にて行なわれた宣教協議会は、戦後50年という節目でもあり、これまでの聖公会の歩みを検証することに主眼が置かれました。しかし、

これから行なわれようとするプレ宣教協議会及び宣教協議会では現実を踏まえつつ、未来に向かって教会・教区の働きを展望する機会にしたいと願っています。差し当たりその準備として行なわれるプレ宣教協議会は、本年8月18日(水)〜20日(金の)日程で、箱根スコレプラザを会場に行なわれます。管区の諸委員会及び各教区からの代表の方々に参加していただき、教区・教会の現状を踏まえた話し合いがされることを期待しております。良い準備がされますよう皆様のお祈りとご理解を賜りますようお願い申し上げます。

プレ宣教協議会実行委員  
日本聖公会 中部教区

司祭 野村 潔